

別記  
第1号様式（第14条関係）

### 環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	2022年6月27日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 大阪市北区梅田2丁目5-25ハービスOSAKAオフィスタワー22階	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） グンゼ株式会社 代表取締役社長 佐口 敏康

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2015
適用範囲	グンゼ(株)宮津工場
導入年月日	2001年07月06日
認証番号	JQA-EM1658
基本方針	衣料品の設計から製造に関わる事業活動、製品及びサービスの中で当社の強みを結集し、以下の方針に基づきマネジメントシステムの継続的改善及び、お客様の要求マネジメントシステムの継続的改善及び、お客様の要求する品質に適合する製品の提供と環境汚染の予防を図る。 1. 顧客又は 販売市場を満足させる項目に対し、技術性と経済性を考慮して目標設定し、必要に応じて見直す。 2. 環境影響が大きい項目に対し、技術性と経済性を考慮し目標設定し、必要に応じて見直す。 3. 関連する法規制及び、地域との協約、その他組織が同意する要求事項を順守する。 3. 関連する法規制及び、地域との協約、その他組織が同意する要求事項を順守する。 4. 活動方針を全構成員に周知し、取引先へも協力と理解を求めると共に必要に応じて公開する。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	(1) CO2排出量を 3840(t-CO2)以下にする（18年度BM対92.7%） 改善量：原油換算127.7k l 以上（18年度BM対5.7%） (2) エネルギー使用量原単位を2019年度実績の1%減 (3) 廃水処理充実で着色度 30以下を維持する
目標を達成するための取組の内容	省エネルギー（電力） ・編織空調冷水ポンプのインバータ化 ・廃水フロー更新による省エネ ・インジエクト使用電力量削減 計3件 省エネルギー（燃料） ・貫流ボイラ運転台数を夜間1台減 ・高温水槽昇温エネルギー削減 ・給水タンクオーバーフロードレン水の回収 ・送蒸配管エコトラップ取付による省エネ 計4件
目標を達成するための取組の進捗状況	省エネルギー（電力） ・編織空調冷水ポンプのインバータ化 80w * 0.4 * 36灯 * 16h * 250日 ・廃水フロー更新による省エネ 22kw * 0.9 * 24h * 300日 ・インジエクト使用電力量削減 0.65Mw * 12ヶ月 省エネルギー（燃料） ・貫流ボイラ運転台数を夜間1台減 6.3kg/日 * 250日 ・高温水槽昇温エネルギー削減 0.533 t * 12ヶ月 ・給水タンクオーバーフロードレン水の回収 19.6 t ÷ 17 ・送蒸配管エコトラップ取付による省エネ 19 t /年 * 10%
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	当初計画通りに取組が出来ている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について毎月確認を行っている。 これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しについては、年に一度評価及び見直しを実施。 2020年度は、現行の目標及び取り組み内容により一定の成果が見られたことから、2021年度も同一システムにより運用した。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。